



目指せ 土 壌 汚 染 調 査 ・ 対 策 の ス ペ シ ャ リ ス ト

土 壌 環 境 監 理 士 の 資 格 取 得 に つ い て

【一般向け】

土 壌 環 境 監 理 士 っ て ど ん な 資 格 ？

- 土壌環境監理士は、土壌汚染調査対策のスペシャリストを土壌環境センターが認定する民間資格です。土壌・地下水汚染の課題について調査・対策の企画・立案、施工、報告の全ての過程を適切に監理できる人材を認定するものです。当該有資格者は土壌汚染対策の多くの事案・現場で活躍し社会貢献を果たしています。
- 土壌環境監理士の受験要件、認定方法及び資格の更新要件は以下の通りです。
 - 受験要件：3年を超える実務経験と指定する資格保有者
 - 認定方法：筆記および面接試験により認定(年1回実施)
 - 資格有効期限：3年(セミナー・講習会等による自己研鑽等、一定の要件を満たせば更新)
- 土壌・地下水汚染に係る職務内容は以下の通りです。
 - 調査の信頼性が確保されるように監理します
 - 対策が適切に実施されるように監理します
 - 調査・対策に携わる人材を育成・指導します

ど ん な 専 門 知 識 と 経 験 が 求 め ら れ る か ？

- 土壌環境監理士は、土壌・地下水汚染関連法令、環境保全、水文・水理・地質及び汚染物質、現場作業者と周辺環境の安全等に関する基礎知識、適切な調査計画立案と実施、適切な対策手法の立案・評価・実施、関係者間のコミュニケーションなど、幅広い専門知識と経験を有する人材として試験で認定され登録されます。

土 壌 汚 染 調 査 技 術 管 理 者 と の 比 較 に つ い て

土壌汚染対策法に基づく**土壌汚染調査技術管理者**が**土壌汚染状況調査の管理・品質の確保**を担うのに対し、**土壌環境監理士**は**土壌・地下水汚染調査から対策工事までを総合的に監理して品質を確保**することが特徴です。

保有土地の環境管理

土壌調査計画・実施

対策の検討・立案

対策工事の実施

土 壌 環 境 監 理 士

土 壌 汚 染 調 査 技 術 管 理 者

	土 壌 環 境 監 理 士	土 壌 汚 染 調 査 技 術 管 理 者
所轄・主催	一般社団法人土壌環境センター	環境省
資格概要	2002年から実施されている民間資格 土壌・地下水汚染に係る調査、対策等に関する正しい知識・判断力を備え、土壌・地下水環境保全分野で社会に信頼される人材を認定する 面接ではコミュニケーション力についても問う	2010年から実施されている国家資格 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査を実施する場合に、手続き・調査方法の設計や管理監督を行う為に必要な資格。同法に基づく指定調査機関に選任が義務付けられている
業務内容	土壌・地下水汚染に係る調査・対策について、法に基づくものから自主的なものに至るまで、土地利用計画に基づいた調査・修復計画及び予算の提案、土壌汚染の調査、修復施工、品質及び施工監理を行う	土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査に関して、手続き、調査方法の策定、土壌汚染の調査、現場管理などと合わせて、品質の確保を行う
受験資格	3年を超える実務経験と指定する資格保有をともに満たしていること	受験資格の制限はないが、技術管理者証の交付には、土壌の汚染の状況の調査に関して3年以上の実務経験が必要
認定方法	筆記試験(記述式)及び面接試験(年1回実施)	筆記試験(択一式マークシート方式)(年1回実施)
合格後の更新	登録の有効期間は、合格時から3年間とし、以降3年毎の更新が必要。 セミナー・講習会等による自己研鑽等、一定の要件を満たせば更新	技術管理者証の有効期間は5年間。有効期間が満了する日の1年前から満了する日までの間に、環境大臣が行う講習を受講し、更新講習修了の証明書の提出により更新



お問い合わせ (一社) 土壌環境センター 資格制度事務局
〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地 KSビル3階
TEL 03-5215-5955 FAX 03-5215-5954
E-Mail : shikaku@gepc.or.jp URL : <https://www.gepc.or.jp/>



土壌環境監理士資格のメリットは？

○事業者

- ①住民・事業者それぞれが、より信頼できる技術者と現場管理を求める際の人材として活用できます。
 - ・土壌汚染の調査対策現場での不具合事項を防止し、工期遅延による損失などのリスク回避に貢献
 - ・近隣住民が抱く懸念に対して円滑なリスクコミュニケーションにより迅速な解決に貢献
- ②職務の実施において、入札仕様書や特記仕様書などで信頼性が確保され、また組織の技術力の維持向上や調査・対策会社としての技術力の証明により、社外評価に貢献できます。
- ③入札資格要件の優位性により受注機会の拡大に貢献できます。
 - ・国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録簿」に掲載（総合評価落札方式の加点要素となりうる）
 - ・財務省の「国有地における土壌汚染に関するコンサルタント業務の入札資格」に採用

○資格認定志望者

- ①土壌汚染調査技術管理者がカバーしていない対策工事（法・条例に基づく措置または自主対策）の施工を監理できる人材として活躍できます。
- ②土壌汚染調査技術管理者を受験資格要件の一つに位置付け、さらに高度な専門知識と経験が求められることから、土壌汚染対策分野に関わる様々な機関・企業での活躍が期待できます。

発注工事に採用された監理士資格要件の実績例（2022 年度）

発注機関名		案件名
東京都		令和4年度土壌汚染対策アドバイザー等総合相談業務委託（単価契約）その2
		都立清瀬特別支援学校土壌汚染概況調査委託
		土壌汚染調査委託（補助第136号線）
		都立城東高等学校土壌汚染状況調査委託
		土壌汚染状況調査委託（補助第90号線（荒川））
		令和4年度土壌汚染対策アドバイザー等総合相談業務委託（単価契約）その3
		土壌汚染状況調査委託（補助第94号線）その2
		都立北特別支援学校土壌汚染概況調査委託
		都立調布北高等学校土壌調査委託（状況調査（表層））
		土壌汚染状況調査委託（補助第138号線）
		代々木公園調査委託
		都立公園土壌調査委託
		尾久の原公園土壌調査委託
		土壌汚染詳細調査委託（補助第94号線外1路線）
		土壌汚染調査及び地下水調査委託（補助第138号線・補助第136号線）
		土壌汚染詳細調査委託（補助第94号線外1路線）その2
他の都道府県	神奈川県	産業技術短期大学校西キャンパス敷地土壌汚染概況調査(自主) 業務委託
他の市町村	門真市（大阪府）	門真市立砂子小学校土地利用履歴調査及び土壌汚染状況調査業務委託
	宍粟市（兵庫県）	一宮市民協働センター土壌汚染調査業務
	宍粟市（兵庫県）	宍粟環境美化センター土壌汚染調査業務
	川西市（兵庫県）	川西市旧分庁舎における土壌汚染対策法に基づく土壌汚染調査委託業務
その他の機関	独立行政法人国立病院機構	土壌汚染状況調査等業務委託一式
	独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部	大規模運動施設周辺地区土壌調査業務

【効率的な学習方法とおすすめの教材】

- 学習方法としておすすめなのは、過去問を徹底的に分析することです。出題傾向や問題形式を把握することで、効果的な学習計画を立てることができます。
- 過去問と併せて活用したい教材は、試験範囲を網羅している環境省の「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置等に関するガイドライン」（販売中）、「区域内措置優良化ガイドブック（環境省）」、「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（国交省）」などです。

過去問QRコード⇒

